

## はじめに

わが国は 2008 年をピークに人口減少社会を迎えました。人口減少や少子高齢化が急速に進む中で、全国的なレベルだけでなく、地域のレベルにおいても様々な問題が生まれています。経済活力や所得確保に関わる産業・雇用面、硬直化する地方財政面、中心市街地・限界集落や生活交通の問題に代表される国土・交通面、高齢者を中心とする医療福祉や買い物弱者問題を含めた安心・安全面など、地域が抱える問題は多岐にわたっています。

環境が大きく変化する中で、地域が自律的な発展を続けていくためには、地域の知的資源、物的資源を十分に活用しながら、新たな価値を創造する取り組みが求められています。とりわけ、産・学・官・民による連携を促進し、そうした活動の成果として地域社会に貢献できるイノベーションを生み出していくことが期待されています。

平成 18 年度より開始した、国立大学法人岡山大学経済学部と一般財団法人岡山経済研究所の共同研究はこうした社会的要請に応えるために、多様なアプローチで地域の現状把握、課題解決に向けた提言の作成等に取り組んでいます。今回はテーマを「岡山県企業に関する研究」と設定し、岡山県企業の財務情報とアンケート調査に基づいて県内企業の分析を行ないました。

本報告書は、岡山県の上場企業の財務情報等に関する分析と非上場企業も含めた岡山県企業に対するアンケート調査及び分析を行ない、それらの分析や調査から得られた知見を取りまとめています。これらにつきましては、岡山大学大学院社会文化科学研究科教授・長畑秀和、同准教授・中川豊隆、および岡山経済研究所研究員が共同で執筆致しました。

なお、末筆ではございますが、本研究におけるアンケート調査の実施に際しまして、ご多忙中にも拘わらず、ご協力を頂きました関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

平成 26 年 8 月

国立大学法人 岡山大学経済学部  
学部長 松本 俊郎  
一般財団法人 岡山経済研究所  
理事長 宮長 雅人

## はしがき

本研究は、岡山県企業について、財務関連データ（日経 NEEDS のデータを使用させていただきました）、アンケート調査結果等に基づいて、その状況・特徴などを明らかにすることを目的として行なわれたものである。2008 年のリーマンショック後は国内外の景気が低迷し、国内企業の業績悪化が深刻化した。そのような状況も今日では改善に向かい、景気は緩やかな回復を続けている。こうした情勢下において、岡山県企業がどのような状況にあるかを把握し、どのような特徴を持っているかを解析し、考察することがこの研究の目的である。今回はデータ（財務関連データ、アンケート調査結果）に基づいて統計手法による解析も試みている。

第 1 章では岡山県企業と岡山県の上場企業に関する基礎的情報を整理して検討を加え、第 2 章では岡山県の上場企業に関して、日経 NEEDS の財務関連データに基づいて統計的手法等を利用して解析を行なった。また、第 3 章では岡山県の上場企業のセグメント情報について検討し、第 4 章では裁量的会計発生高に注目して岡山県の上場企業の利益の質について検証した。第 5 章では、岡山県企業を対象に財務情報等の認識度や活用・開示状況などに関するアンケート調査を行なった集計結果について考察し、第 6 章では第 5 章に続いてアンケート結果に関して、第 5 章と別の視点からの解析を行ない、考察した。

## 謝 辞

本研究では、岡山県企業へのアンケート調査を行なっていますが、ご多忙の中、ご協力いただきました企業の経営者・担当者の方々に深く感謝いたします。

最後に、この研究のさらなる発展を願い、本報告書をお読みいただいた皆様からの忌憚のないご意見・ご批評を賜りますようお願いいたします。

平成 26 年 8 月

研究代表者

長畑 秀和（岡山大学大学院社会文化科学研究科教授）

研究グループ

中川 豊隆（岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授）

山本 智之（岡山経済研究所主任研究員）

脇本 泰子（岡山経済研究所研究員）

# 目 次

はじめに

はしがき

<b>第 1 章 岡山県企業と岡山県の上場企業</b> .....	1
概要 .....	1
1.1 序 .....	1
1.2 岡山県企業 .....	1
1.3 岡山県の上場企業 .....	6
1.4 小括 .....	18
参考文献 .....	19
<b>第 2 章 岡山県企業の財務情報に基づく解析</b> .....	20
概要 .....	20
2.1 序 .....	20
2.2 多変量解析による解析 .....	21
2.3 時系列分析による解析 .....	43
2.4 小括 .....	58
参考文献 .....	58
<b>第 3 章 岡山県の上場企業のセグメント情報</b> .....	59
概要 .....	59
3.1 序 .....	59
3.2 セグメント開示基準 .....	60
3.3 セグメント会計基準 .....	62
3.4 岡山県の上場企業のセグメント情報の分析 .....	66
3.5 小括 .....	81
参考文献 .....	82
<b>第 4 章 岡山県の上場企業の利益の質</b> .....	83
概要 .....	83
4.1 序 .....	83
4.2 利益の質の多義性 .....	83
4.3 利益、キャッシュフロー、会計発生高 .....	87
4.4 利益の質の実例 .....	89

4.5 小括	96
参考文献	97
<b>第5章 岡山県企業のアンケート調査 ー単純集計とクロス集計ー</b>	101
概要	101
5.1 序	101
5.2 アンケート調査の概要	101
5.3 回答企業の属性	102
5.4 自社財務情報の見方	107
5.5 財務情報の開示について	114
5.6 コーポレートガバナンス（企業統治）について	120
5.7 その他	125
5.8 小括	132
参考文献	133
<b>第6章 岡山県企業のアンケート調査結果に関する一考察</b>	134
概要	134
6.1 序	134
6.2 問10についての集計結果	134
6.3 問21についての集計結果	141
6.4 小括	144
参考文献	144
<b>終章</b>	145
<b>付録</b>	149
財務情報等に関する意識調査（岡山県企業のアンケート調査）調査票	150
執筆者一覧	158